

先輩職員の声



施設団体支援部
佐藤 綾子 (30代)
入社：令和3年

Q1.今の業務内容は？

県内の福祉人材不足への対策として、外国人介護人材の受入を促進すること、外国人人材定着の支援を行うことを目的に各種セミナーや研修の企画・運営等を行っています。

Q2.嬉しかったこと、印象に残っていることは？

現場の方から反応をいただけると嬉しいです。

介護施設の施設長から「セミナーを聞いて外国人スタッフを受け入れることにしたよ」と言われた時や、研修を受けた外国人スタッフに「みんなと勉強できてうれしい」と笑顔を返された時は、達成感を感じます。



Q3.大分県社協を志した理由は？

地域で暮らす方々にとって身近な存在で、大きな責任と使命を伴う仕事がしたいと感じていました。前職は福祉業界ではありませんでしたが、県社協の仕事はまさに県民の普段の暮らしを支える「地中の土管」であると思い、関心を持ったことがきっかけです。



Q4.職場の雰囲気はどんな感じ？

様々な年代・雇用形態の方が働いています。

また、私のように福祉業界未経験者で、ある程度の年齢になって入職した職員でもどんどん仕事を任せてもらえるので、経験値を上げていく機会が与えられていると思います。



Q5.大分県社協でのやりがいは？

「答えが1つではなく、無限大に色々なことができる」ところですね。「何をしたら効果が生まれるか」を自由に考え、そして考えたことが形になっていく仕事のあり方にはとても魅力を感じます。

みなさんへmessage

就職活動は色々と思いを悩むこともあると思います。結果に捉われると苦しいかもしれません。

自分はどうのような仕事で何を成し遂げ、成長していきたいかという「信念」があれば立ち向かえるはずですよ。これまでの自分を信じて突き進んでください。応援しています。